

市町村名	与那国町						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	与那国町デマンド交通運行事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-(ウ) 離島定住条件基盤整備		
担当部課名	企画財政課	事業実施 年度	令和 元 年 ~ 令和 元 年 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-9-(1)		
事業内容	継続可能で安定した公共交通網の整備を目的として、ICTを活用した新たなデマンド交通の試行運行を実施する。 今年度は、AI運行システムによるデマンドバスの試行運行を行い、その結果を多面的に評価し次年度以降の本格導入検討 作業に繋げる。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中 の予算額 ・執行額 【単位:千円】		R1年度	○年度	○年度	○年度	合計	
	A. 予算現額	29,445				29,445	
	B. 執行済額	27,516				27,516	
	うち 交付金充当額	22,012				22,012	
	執行率(%) (B/A)	93.4%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	93.4%	
執行状況の説明	当初計画のとおり委託を適正に執行した。						
事業期間中 の活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			R1年度	○年度	○年度	○年度	○年度
	与那国町デマンド交通試行運行の実施	目標	実施				
		実績	実施				
事業期間中 の成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			R1年度	○年度	○年度	○年度	○年度
	・与那国町デマンド交通試行運行評価書の 完成	目標	1式				
		実績	1式				
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み

	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成／進捗状況				
		R2年度	R3年度	○年度	○年度	○年度 目標/発現年度
事業完了後の成果目標	【R2成果目標】 デマンド交通試行運行の結果等を踏まえ、町における公共交通の目標利用者数を設定し、離島地域における持続可能で利便性の高い公共交通導入に向けた取組の確実な実施。	目標	実施	実施		
		実績	未実施	未実施		
		目標				
		実績				

状況説明

【R2年度】
・新型コロナ感染症拡大のため、令和元年度に行った実証実験に対する検証会などが開催できない状況である。

【R3年度】
・デマンド交通試行運行評価書を基に本町における公共交通サービスの方針を検討する庁内の検討協議会を立ち上げ、方針を固める必要があったが、新型コロナへの対策が優先となり協議が実施できていない。

【 年度】
・

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
--	---------------------------------------

<p>【R2年度】 ・新型コロナ感染症拡大のため、令和元年度に行った実証実験に対する検証会などが開催できない状況である。</p> <p>【R3年度】 ・デマンド交通試行運行評価書を基に本町における公共交通サービスの方針を検討する庁内の検討協議会を立ち上げ、方針を固める必要があったが、新型コロナへの対策が優先となり協議が実施できていない。</p> <p>【 年度】 ・</p>	<p>【R3年度以降】 ・実施できていない検証会を早期に開催し、デマンド交通の効果検証を実施する。</p> <p>【R4年度】 ・withコロナも見据えての状況を加味しながら、早急に公共交通サービス方針検討協議会を立ち上げ協議を開始する。</p> <p>【 年度】 ・</p>
--	--

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

【R3年度以降】
・デマンド交通実証実験の結果を基に既存の公共交通を含めた本町の公共交通サービスの充実を図り、住民及び観光客の島内交通に係る利便性確保に努める。

【R4年度】
・庁内協議会にて方針を決定後、施策を具体化し事業実施に繋げるため、現在策定中の第5次総合計画にデマンド交通試行運行評価書の結果を反映させ、事業として確実に実行されるよう対応する。

【 年度】
・

市町村名	与那国町						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	与那国町古民家活用型定住促進事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-工 過疎・離島地域の振興		
担当部課名	企画財政課	事業実施 年度	平成29 ~ 令和2 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-9-(1)		
事業内容	平成26年度与那国町古民家活用型定住促進モデル実施計画の成果に基づき、モデルとする古民家の解体・移築を通して、新旧を融合させた持続可能な建築技術の継承に取り組むとともに、整備した古民家を活用して定住促進を図る。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H29年度(繰越)	R1年度	R2年度	R2年度(繰越)	合計	
	A. 予算現額	35,810	4,950	36,000	36,000	112,760	
	B. 執行済額	35,810	4,950	0	0	40,760	
	うち 交付金充当額	28,648	3,960	0	0	32,608	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	36.1%	
執行状況の説明	入札を2回執行したが不調(全指名業者辞退)に終わり、他候補地を検討したが手続き等に時間を要することから、計画の変更が必要となり事業の遂行が困難となったため、事業の実施を取り止めた。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			R1年度	R2年度	○年度	○年度	○年度
	シニア型住宅1棟の設計・工事の実施	目標	設計	工事実施			
		実績	設計完了	未実施			
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			R1年度	R2年度	○年度	○年度	○年度
	シニア型住宅1棟の設計・工事の完了	目標	設計の完了	工事の完了			
		実績	完了	未完了			
		目標					
		実績					
		目標					
	実績						

事業完了後の取り組み

	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
		R3年度	○年度	○年度	○年度	○年度 目標/発現年度
事業完了後の成果目標	【R3成果目標】 島外からの体験型住宅入居人数 2人	目 標	入居者2人			
		実 績	未実施			
		目 標				
		実 績				
状況説明	【R3年度】 ・候補地選定の見直しに伴う建築工事中止のため当初計画していた令和3年度供用開始ができないため未実施となっている。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・					

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
【R3年度】 ・候補地の見直しが発生したため計画年度内の事業完成ができなかった。 【R5年度】 ・ 【 年度】 ・	【R4年度以降】 ・基本計画の見直しを行い、建設候補地の再選定を行う。 【R5年度】 ・再確定した候補地に合わせて実施設計の変更を行う。 【R6年度】 ・建築工事を実施し令和7年度の供用開始を目指す。

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

【R7年度以降】 ・シニア型移住住宅の供用を開始し、本町に移住定住を希望する対象者への受け入れをし入居期間中のサポート等を通して移住の促進を図る。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・
--

市町村名	与那国町					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】						
事業名	与那国町国境交流結節点化推進事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ウ 交通基盤の整備と交通ネットワークの充実強化	
担当部課名	企画財政課	事業実施 年度	令和 1 ~ 令和 3 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-9-(1)	
事業内容	本町の地理的優位性を活かし交流人口の増加を図るため、国際交通及び国際交流の拠点化に向けた施策を展開する。今年度は基礎調査を行い、行動計画を策定する。					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()					
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		R1年度	R2年度	R2年度(繰越)	○年度	合計
	A. 予算現額	5,269				5,269
	B. 執行済額	5,269				5,269
	うち 交付金充当額	4,215				4,215
	執行率(%) (B/A)	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%
執行状況の説明	当初計画のとおり委託を適正に執行した。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況				
			R1年度	○年度	○年度	○年度
	・与那国町国境交流結節点化可能性調査業務の実施	目標	実施			
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況				
			R1年度	○年度	○年度	○年度
	・与那国町国境交流結節点化可能性調査業務報告書の完成	目標	実施			
		実績	実施			
		目標				
		実績				
		目標				
	実績					

事業完了後の取り組み

	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
		R3年度	○年度	○年度	○年度	○年度 目標/発現年度
事業完了後の成果目標	【R3成果目標】 高速船を台湾へ就航させる実証実験の開催しての交流を図る。目標値 交流人口160人	目 標	実施			
		実 績	未実施			
		目 標				
		実 績				
状況説明	【R3年度】 ・令和3年度に実証実験を行う予定であったが新型コロナウイルス感染症拡大のため国交交流が困難となったため見送りになった。新型コロナウイルスの対策を行った上での国交交流を行うために計画の見直しを行う。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・					

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
--	---------------------------------------

【R3年度】 ・新型コロナウイルス感染症拡大のため、国交交流が困難な状況であるため計画が延期になっている。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・	【R3年度以降】 ・国交交流計画の早期再実施に向けて新型コロナウイルス感染症の対策を踏まえた計画を策定し社会実験に備える。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・
--	--

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

【R3年度以降】 ・新型コロナウイルス感染症の状況が改善され次第、社会実験を行い国交交流人口の拡大を図る。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・
--